

鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm



携帯サイトです。ブック
マークに登録を！

ニュース

No. 29

2012年5月15日

お知らせ

第6回県連絡会総会& かごしま学童保育シンポジウム

と き：2012年6月10日(日)

第6回県連絡会総会 10:00(受付)10:30~12:00

第4回かごしま学童保育シンポジウム

・基調講演 13:00~14:30

講師：伊藤 周平さん(鹿児島大学・社会保障法)

演題：「新システムで学童保育はどうなる？(仮)」

・第4回シンポジウム 14:50~16:00

テーマ：「いま、学童保育はどうなっているの？」

～語ろう 学ぼう 学童保育」

パネラー：大学関係 保護者 行政

ところ：始良市「加治木町福祉センター」

(始良市加治木町本町393 TEL0995-63-2080)

参加費：加盟クラブ 一人500円(資料代)

未加盟クラブ・一般 一人800円(資料代)

新システム撤回

すべての子どもによりよい保育を！

「子ども・子育て新システムの基本制度」が政府決定となり、今国会に法案が提出されました。全国保育団体連絡会では、新たに「保育を産業化する『子ども・子育て新システム』は撤回し、安心して保育・子育てができる制度の実現を求める請願」の署名集めにとりくんでいます。

全国学童連や県連絡会としても「新システムによる公的保育制度の解体には反対し、学童保育のあるべき姿を実現できるよう働きかけます」という立場で運動にとりくんでいます。

新システム撤回に向けた第2次署名運動にご協力を！



政府が「子ども・子育て新システムの基本制度」を決定

2012年3月2日、政府の少子化社会対策会議(関係閣僚出席)が開かれ、基本制度ワーキングチームの「とりまとめ」を政府決定しました。また、「子ども・子育て新システム法案骨子」も決定されました。

(1) 2012年2月13日「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」

放課後児童クラブ

- 小学校4年生以上も対象となることを明記し、4年生以上のニーズも踏まえた基盤整備を行う。
- 放課後児童クラブについては、市町村が地域のニーズ調査等に基づき実施する旨を法定する。市町村は、市町村新システム事業計画(仮称)で需要の見込み、見込量の確保策を記載し、提供体制を計画的に確保する。
- 質を確保する観点から、職員の資格、員数、施設、開所日数・時間などについて、国は法令上の基準を新たに児童福祉法体系に設定する。
- 国が定める基準を踏まえ、市町村が基準を条例で定める。職員の資格、員数については、現行の事業実態を踏まえ、「従うべき基準」とすることも含め、法制的に整理する。
- 利用手続きは市町村が定める。ただし、確実な利用を確保するため、市町村は、利用状況を随時把握し(事業者は市町村に状況報告)、利用についてのあっせん、調整を行うことを検討する。

(2) 2012年3月2日「子ども・子育て新システムの基本制度」決定(少子化社会対策会議)

放課後児童クラブについて

- ◇ 「小学校4年以上も対象とすることを明記し、4年以上のニーズも踏まえた基盤整備を行う」「質を確保する観点から、職員の資格、員数、施設、開所数・時間などについて、国は法令上の基準を新たに児童福祉法体系に設定する」「国が定める基準を踏まえ、市町村が基準を条例で定める。職員の資格、員数については、現行の事業実態を踏まえ、『従うべき基準』とすることを含め、法案提出までに整理する」。

◇ 学童保育を含む「子ども・子育て支援事業(仮称)」における国と地方の負担割合は、現行と同じ一対とされ、国庫補助金(裁量の経費)に位置づけられています。

これから法案の中身が議論されていきますが、全国連絡協議会では2012年2月14日に発足した超党派の国会議員連盟を通じて「放課後児童クラブの抜本的拡充に係る緊急要望」を提出するなど活発なとりくみが進められてきています。

県連絡会のとりにくみを充実する中で、自治体への働きかけを強め、安心して子どもを産み育てられる地域、子どもが豊に育つ地域づくりをめざすとり組みをさらに進めていきたいと思ひます。2012年度の総会では、社会保障の専門家である伊藤周平さんをお交えて、「いま学童保育がどうなっているのか？」基調講演とシンポジウムを開催します。

■伊藤周平さん「子ども・子育て新システムと
保育・学童保育」学習会

子育て新システムの内容が明らかになってきた3月17日、鹿児島市ボランティアセンターにて、施設長・設置者を対象とする学習会を開催しました。講師は、社会保障法の専門家である鹿児島大学の伊藤周平さん。

講演では、保育所・保護者から見た新システムの問題点、子ども・保護者から見た問題点とともに、新システムの導入によって、保育労働者の労働条件の悪化と保育内容の変質がもたらされることが指摘されました。

学童保育ではどうなるのか？ 新システムでは学童保育は市町村が行う子ども・子育て支援事業に位置づけられます。

問題点としては、クラブの人数規模、施設、開所日数・時間などの基準は、市町村が独自に設定することができるため、市町村間の格差は今以上に拡大する懸念があります。国は責任を持たず、自治体任せになります。

財源問題では、あらかじめ決められた財源ではなく、地域子育て支援拠点事業や延長保育事業などの財源の取り合いになるとの問題点が指摘されました。

伊藤周平さんには、県連絡会のシンポジウムの基調講演で、より具体的に学童保育との問題点を掘り下げていただく予定です。

◆第5回新年度を控えての指導員研修会

講師：熊谷良子さん

／宮崎カウンセリング&リカバリールーム

演題：子どもと言葉のキャッチボールができていますか？

—子どもの声を聴きとる力—

第5回目を迎える研修会は、「学童保育とは」—その歴史と役割、今日的な課題について昨年発刊したブックレット『かごしまの学童ほいく』をテキストとした基礎講座と、学童保育の基本の学びとともに、「子ども理解」（子どもと言葉のキャッチボールを通して、子どもの言葉づかいや子どもの言葉の受け止め方etc.）のために、子どもへの声かけ方などを学ぶ研修講座（実践講座・ケーススタディーを含む）として3月18日、加治木町福祉センターにて県内各地から65名の参加の開催しました。

カウンセラーである講師の熊谷さんは、コミュニケーションにおいて、「傾聴」—心と体を傾けて聞くことの大切さをリフレーミングとロールプレーの実践を通して大変分かりやすく、提起していただきました。

参加者のアンケート（下段）から、研修会の内容と雰囲気がかがえると思います。

熊谷さんを講師に定期的な研修会の場を作っていきたいと思います。

子どもと言葉のキャッチボールができていますか？
—子どもの声を聴きとる力—

■県連楽会第5回

新年度を控えての指導員研修会

熊谷良子講演会アンケート

33名の方から回答をいただきました。

■今回の研修講座（熊谷良子さんの講座）は、いかがでしたか？

- ・現場、現状にピッタリ合った研修内容で参考になりました。ロールプレイがとても良かったし、そのことに対する熊谷先生の細やかな対応がとても有り難かったです。
- ・問題行動のある子どもへの対応の仕方、言葉のキャッチボールについては、自分も実践していきたいと思う。
- ・聴くことの大切さ、子どもの立場になって聞く側になっての言葉の受け取り方も考え、言葉を大切にしていきたいと思いました。
- ・とてもよかった。もっともっと何回も聞いてみたい。実践はなかなか、すぐには難しいと思うが、言葉のリフレーミングからやってみようと思います。
- ・とても分かりやすく、良い講座でした。こりからも今日の先生の講座を学童で実際に生かしていきたいと思います。
- ・日々の子どもの心にかかわる際に生かされることばかりでした。先日、卒所会をしたこともあり、子ども達一人ひとりの一年間の成長と自分たちに心開いてきた部分を思ったり、「理解して、これから良いかかわりが持てそうなのに…」と淋しくなったりでした。声、話し方、とても安心して聞くことができました。
- ・毎日、子ども達と接する中で、問題意識を持たず過ごしているように思えました。言葉一つとってもポジティブに感じられるような言葉を選んで、これからの保育に取り入れていきたいと思いました。

- ・大変分かりやすく、楽しく学べました。仕事でのキャッチボール、また我が子との会話を振り返り、今日帰ったらすぐにプラスの言葉で、コミュニケーションをとっていきなさいと思います。プラスの言葉で自分も同僚とも、また何より子ども達と生きやすい、安心できる場を築いていきたいと思いました。
- ・とても勉強になりました。家での言葉が（娘に対して）リフレーミングで言えるように努力したいなあとと思いました。学童で子ども達に何でも話してもらえよう先生にならないと、と思いました。
- ・日頃気になっていた言葉かけについて、実践的に使える話を聞いてとても満足しています。また、指導員同士の信頼関係が土台になれば、子どもたちとの関係もうまくいかないことも、改めて心にとめて仕事しようと思います。今日一緒に来た先生と、日頃言い出せなかった話し（よく話し合いをしてもっと問題点を訴えようなど）もできて、明日から自分も過ごしやすいかなと思います。
- ・指導員になり7か月と短く、何かなにやら分らず時間が過ぎましたが、今回初めてこの研修に参加し、先生の話の色々と聴き、少し理解ができたように思いました。
- ・言葉で見れば難しそうでしたが、一つひとつじっくりと見ていくと“言葉”、“言葉かけ”の重要さに気づけた気がします。子どもも大人もそれぞれ思っていることはもちろんあって、表現の仕方が違うだけ、表現できるかそうでないか…“見えない言葉”にも目、耳を向けていきたいなと思います。